

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

No.	2026-021
投書日	2026/7/8
タイトル	MYTG 運用およびWiFi 環境に関する要望
投書内容	1. MYTG 運用に関する継続的な問題と改善状況の不透明さ MYTG 導入後、複数タブ利用の禁止、70 分での自動ログアウト、画面の见づらさ、操作性の悪さ、課題や資料の確認のしづらさなど、同様の指摘が導入直後から現在まで継続して寄せられています。しかし、大学側の回答は「検討します」「ご不便をおかけしております」という抽象的な表現が中心であり、具体的にどのような改善が行われたのか、また今後どのような改善計画があるのかが明確に示されていません。 2. ベンダー依存を理由とした改善遅延について 大学側の回答では、「MYTG は大学の自社開発ではなく、システムベンダー（日本システム技術株式会社）の提供を受けているため、即時の改善が容易ではない」と説明されています。また、同社が国内最大手であることやアップデート頻度が高いことが強調されています。 しかし、学生が求めているのはベンダーの評価ではなく、大学としてどのように改善を実現するのか、改善できない場合はその理由をどのように説明するのかという点です。ベンダー依存を理由に改善が進まない状況は、教育サービスの提供主体である大学としての説明責任が十分に果たされているとは言えません。 したがって、以下の点を明確に示していただくことを要望します。 ・ベンダー依存による制約の具体的内容 ・大学として改善にどこまで主体的に関与できるのか ・改善が困難な項目について、技術的・運用的な理由を学生に分かる形で説明すること ・ベンダーとの協議状況や改善計画の進捗を定期的に情報公開すること 3. 深夜帯の長時間停止について 毎日深夜 2 時～7 時までの長時間停止は、アルバイト・課外活動・通学事情などで深夜に学習せざるを得ない学生にとって大きな支障となっています。教育サービスとして、毎日 5 時間もの停止が恒常化していることは適切な運用とは言えません。 大学側はバックアップやメンテナンスの必要性を説明していますが、学生の学習実態を踏まえた運用見直しが求められると考えます。 4. WiFi 環境の不安定さについて 授業資料が閲覧できない、授業終わりの小テストが通信不良で完了できない、アクセス集中時に接続が不安定になるなど、学習に直接的な支障が生じています。大学側は「状況確認が必要」「個別相談を」と説明していますが、全体的な改善方針や具体的な対策が示されていません。 教育基盤としての信頼性を確保するため、通信環境の抜本的な改善が必要です。

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

	5. 学納金値上げとの整合性 2026 年度から学納金が引き上げられています。学生にとって、教育環境の向上は当然期待されるものです。しかし、現状では「便利になった」という声よりも「不便になった」という声が多く、学習環境の質が釣り合っていないという強い違和感があります。 まとめ：大学としての主体的な改善と説明責任を求めます。 以上の点から、MYTG 運用および WiFi 環境について、 ① 改善状況の明確な情報公開 ② 全体的な改善計画の提示 ③ ベンダー依存を理由としない主体的な改善姿勢 ④ 学生の学習実態を踏まえた運用見直し を強く要望いたします。 学生が安心して学習できる環境の整備に向けて、実効性のある改善をお願いいたします。
回 答 日	2026/9/4
回 答	MYTG の運用および学内 WiFi 環境について、非常に具体的かつ建設的なご意見をいただき、深く感謝申し上げます。ご指摘いただいた以下 5 点について 1. MYTG の改善状況の可視化と具体的な進捗について 2. システムの技術的制約と改善へのアプローチについて 3. 深夜帯の長時間停止（2 時～7 時）の運用見直し 4. WiFi 環境の抜本的な改善と信頼性確保 5. 学納金改定と学習環境の質について 以上、ご要望いただいた項目に対しましては、2026 年 6 月 19 日付の「MYTG の運用、改善状況に関する意見書（2026-014）」等での回答のとおり、実際に改善された内容や現在の進み具合については、MYTG のお知らせ機能なども活用しながら、皆さんにしっかりと伝わるよう積極的な情報公開に努めてまいります。 また、2026 年度からの学納金改定に伴い、操作性の改善や WiFi の安定化を、学納金還元における優先課題の一つとして改めて認識し、対応させていただきます。